

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



# 森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（令和2年7月号）

「お知らせ」令和2年7月1日

先月、南口「みんなの庭」に植え込んだ夏花が無事に根付いて元気いっぱいです。ユリや桔梗も競い咲きして、駅前がたいへん華やかになりました（写真）。植え替えや手入れに汗を流してくださったボランティアの皆さん、有難うございました。

今月の活動予定をお知らせいたします。

7月19日（日）09:00～10:30 南口電停脇の「みんなの庭」の手入れをいたしましょう。

<8月の共同活動はお休み、9月は13日（日）を予定しております。>



植え替えが終わった「みんなの庭」



ユリが満開です



桔梗も競います

○6月の活動記録：12日（金）、冬～春花と雑草を取り除いて土起こしと施肥を行いました（協力：前川種苗さん）。14日（日）には有志でマリーゴールド（橙）、ミリオンゴールド（黄）、ペンタス（赤・ピンク）、トレニア（ピンク・紫）など200株を植えました（花苗は高知市みどり課提供）。

今月の話題（コラム）は「いのちのつながり：まちなかの学校林・学校菜園」です。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・続きは次ページをご覧ください・・・・・・・・・・・・・・・・・・

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：[m.nakata@ak.wakwak.com](mailto:m.nakata@ak.wakwak.com)

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：[kumont2@yahoo.co.jp](mailto:kumont2@yahoo.co.jp)

ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695



(ユネスコスクールHPより)

## 「緑のまちづくり」を考える(39)

### いのちのつながりを学びます

まちなか  
—市中の学校林・学校菜園—



(ガストロノミアHPより)

皇太子殿下・妃殿下(当時)ご臨席の2018年度全国育樹祭の舞台上で生徒たちが代表発表を行ったことなどから、ある小学校の自然学習活動(「グリーンプロジェクト」)が注目されています。多摩丘陵の斜面に立つ、生徒数350人余りの東京都多摩市立愛和小学校を訪ねてみました。

広さ千坪ほどの「学校林」は、開発から取り残されたような自然林の名残で、広い校庭を見下ろす細長い傾斜地(のり面)にマツ、クス、イチヨウほか大小さまざまな樹々が立ちならんでいます。果樹園や湧水もあります(下の写真、筆者撮影)。



「学校菜園」は、日当たりのよい校舎の裏地を使った、プール二つほどの広さのミニ農園でした。ナス、トマト、キャベツ、ジャガイモ、ダイズ、ヒマワリ、ブドウ棚などなど色んな区画に分かれ、ニワトリも飼われています。水田では、田植えを終えたばかりの若い苗が風に揺れています(下の写真、同)。

敷地の傍らには小さな水路が伸びており、人の気配を感じたザリガニがあわてて隠れました。



新1年生は、遊びながら校内の自然を発見し、いてもいいんだよという居場所を見つけます。2年生になると、野菜の苗から始め、観て、触り、嗅ぎ、聴いて、味わいます。3年生は大豆を育て、豆腐やお菓子を作ります。ニワトリの飼育は4年生。上級生は、ジャガイモを作り料理して理科の光合成の実習を兼ねます。稲作も体験し、世界の「食」や「貧困」の問題まで、SDG(国連の持続可能開発目標)にからめて勉強します。もちろん、生ゴミで作った肥料を使う有機栽培。こんな体験をしながら、いのちの繋りを学んでいるのです。

7年前に取り入れた自然教育が根付いている理由の一つは、全学年にわたり、国語、理科、社会、図工、総合などの教科とつながる 正規の授業と位置づけていることです。また、学校や先生方の力の及ばないところは、外部の師匠(分野の専門家や「エディブル・スクールヤード・ジャパン」などの団体)の応援を得ていること、そして、保護者有志などボランティアの手助けもぜったい欠かせないといえます。

(参考文書:多摩タウンニュース、ユネスコスクールHP、「小学校に農園を」=ガストロノミアHP)